

2020年3月16日

各 位

会社名 株式会社アルファクス・フード・システム
代表者名 代表取締役社長 田村 隆盛
(コード番号: 3814 東証JASDAQ)
問合わせ先 取締役管理部長 菊本 健司
電話番号 0836-39-5151
URL <http://www.afs.co.jp/>

(訂正)「平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成30年2月14日に開示いたしました「平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 訂正の内容と理由

訂正の内容と理由につきましては、別途、本日(2020年3月16日)付「過年度の有価証券報告書等の訂正報告書の提出及び過年度決算短信等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所は_____線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

以上

(訂正後)

平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年2月14日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム 上場取引所 東
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 菊本 健司 TEL 0836-39-5151
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	525	△6.5	28	△15.0	26	＝	17	＝
29年9月期第1四半期	561	△3.1	33	△40.0	△4	＝	△14	＝

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	6.90	—
29年9月期第1四半期	△6.87	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年9月期第1四半期	2,457	1,009	41.1	409.58
29年9月期	2,539	1,041	41.0	422.66

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 1,009百万円 29年9月期 1,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00
30年9月期	—				
30年9月期(予想)		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年9月期の業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,060	1.0	90	25.6	80	171.0	57	912.2	23.14
通期	2,260	8.3	220	197.8	190	535.4	146	88.0	59.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期1Q	2,513,800株	29年9月期	2,513,800株
② 期末自己株式数	30年9月期1Q	50,143株	29年9月期	50,143株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期1Q	2,463,657株	29年9月期1Q	2,182,217株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向と、雇用、所得環境の改善を背景に、国内景気は緩やかながらも回復基調が続いている一方、国内外の政治経済動向の不安定感から、先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社の主要販売先である外食業界におきましては、全体的な売上高として堅調な推移を見せているものの、業態によって業況にばらつきがあるほか、消費者の節約志向は依然根強く、食材価格の高騰や、人材確保の競争激化による人件費の高騰など、当社の事業領域においては、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、中堅、大手の外食チェーンを中心に、従来からのASPサービスを核としたPOS・オーダーリングシステムなど、トータルソリューションを提供し、ソフトウェア販売の比率を徐々に高めております。

また、平成29年8月31日に「ホテル運営事業の譲受に関するお知らせ」で公表したとおり、事業の譲受によりホテル事業へ参入いたしました。

その結果、売上高は525,185千円(前年同四半期比6.5%減)となりました。利益面に関しましては、営業利益28,679千円(同15.0%減)、経常利益26,119千円(前年同四半期は経常損失4,435千円)、四半期純利益17,002千円(前年同四半期は四半期純損失14,981千円)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

なお、当社は、「ASPサービス事業」の単一セグメントでありましたが、ナチュラルグリーンリゾート株式会社よりホテル事業の譲受を行ったことにより、報告セグメントを「ASPサービス事業」と「ホテル関連事業」に変更しております。

(ASPサービス事業)

当社は、顧客である飲食店舗に対し、ASPサービスを核としたASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、売上高は511,347千円となり、セグメント利益は28,653千円となりました。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規獲得及び既存顧客へのサービスの拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売に注力した結果、売上高は271,542千円(前年同四半期比1.7%減)となりました。

なお、月額サービス料は、3ヶ月累計で255,495千円(同3.2%減)となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムについて、既存顧客の出店対応と、リプレイスに集中した結果、売上高は193,589千円(前年同四半期比20.0%減)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、提携先製品の販売、機器修理などのインテグレーション、サプライ製品などを販売した結果、売上高は46,216千円(前年同四半期比6.6%増)となりました。

(ホテル関連事業)

当社は、ナチュラルグリーンパークホテルの管理運営を行っております。当事業におきましては、売上高は23,669千円となり、セグメント利益は25千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、2,457,395千円となり、前事業年度末に比べ82,245千円減少いたしました。これは主に商品25,512千円、売掛金18,817千円及びソフトウェア仮勘定18,307千円などの増加の一方で、現金及び預金135,086千円の減少及びソフトウェア13,036千円の減少などによるものであります。

負債合計は1,448,330千円となり、前事業年度末に比べ50,017千円減少いたしました。これは主に預り金16,822千円の増加の一方で、長期借入金29,583千円、買掛金28,197千円などの減少によるものであります。

純資産は1,064,534千円となり、前事業年度末に比べ32,361千円減少いたしました。これは、四半期純利益17,002千円の計上の一方で、配当金の支払い49,273千円に伴う利益剰余金32,270千円の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は引き続き、従来からのASPサービスを核としたトータルソリューションシステムの提供と、パッケージ型の基幹業務システム「飲食店経営管理システム(R)」の販売活動及びホテル関連事業について注力してまいります。平成30年9月期の業績予想につきましては、平成29年11月13日付の「平成29年9月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	281,520	146,433
売掛金	161,963	180,781
商品	<u>323,349</u>	<u>348,861</u>
貯蔵品	28,860	28,127
前渡金	17,773	9,720
前払費用	<u>16,330</u>	<u>19,068</u>
繰延税金資産	<u>42,792</u>	<u>37,560</u>
未収入金	8,712	32,784
未収消費税等	53,103	53,769
その他	6,896	7,279
貸倒引当金	<u>△4,259</u>	<u>△5,337</u>
流動資産合計	<u>937,042</u>	<u>858,382</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	720,789	716,406
構築物（純額）	18,466	18,078
工具、器具及び備品（純額）	149,033	153,333
土地	139,627	139,627
リース資産（純額）	76,523	72,529
建設仮勘定	615	695
有形固定資産合計	<u>1,105,055</u>	<u>1,100,670</u>
無形固定資産		
ソフトウェア	<u>100,362</u>	<u>87,325</u>
ソフトウェア仮勘定	<u>163,697</u>	<u>182,004</u>
電話加入権	2,445	2,445
特許権	671	648
のれん	27,777	26,388
無形固定資産合計	<u>294,953</u>	<u>298,812</u>
投資その他の資産		
関係会社株式	10,200	10,200
出資金	123	127
長期前払費用	<u>140,273</u>	<u>140,595</u>
敷金及び保証金	12,200	12,200
繰延税金資産	12,262	8,792
長期未収入金	59,677	59,677
その他	10,825	10,947
貸倒引当金	<u>△43,050</u>	<u>△43,050</u>
投資その他の資産合計	<u>202,512</u>	<u>199,490</u>
固定資産合計	<u>1,602,520</u>	<u>1,598,973</u>
繰延資産		
社債発行費	77	38
繰延資産合計	77	38
資産合計	<u>2,539,640</u>	<u>2,457,395</u>

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	143,276	115,079
短期借入金	450,000	450,000
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
1年内返済予定の長期借入金	103,749	118,333
リース債務	17,643	17,253
未払金	68,140	55,981
未払費用	11,942	13,101
未払法人税等	6,569	2,606
預り金	10,150	26,972
前受金	52,099	55,464
賞与引当金	19,461	4,707
その他	—	14,933
流動負債合計	890,034	881,434
固定負債		
長期借入金	501,250	471,666
リース債務	65,706	61,393
退職給付引当金	41,356	33,836
固定負債合計	608,313	566,896
負債合計	1,498,347	1,448,330
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	537,862
資本剰余金	327,723	327,723
利益剰余金	<u>213,181</u>	<u>180,911</u>
自己株式	<u>△37,560</u>	<u>△37,560</u>
株主資本合計	<u>1,041,206</u>	<u>1,008,936</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	86	128
評価・換算差額等合計	86	128
純資産合計	<u>1,041,292</u>	<u>1,009,065</u>
負債純資産合計	<u>2,539,640</u>	<u>2,457,395</u>

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
売上高	561,607	525,185
売上原価	<u>374,614</u>	<u>326,276</u>
売上総利益	<u>186,992</u>	<u>198,908</u>
販売費及び一般管理費	<u>153,263</u>	<u>170,229</u>
営業利益	<u>33,729</u>	<u>28,679</u>
営業外収益		
助成金収入	700	750
貸倒引当金戻入額	4,287	—
雑収入	181	287
営業外収益合計	<u>5,169</u>	<u>1,037</u>
営業外費用		
支払利息	2,221	2,556
支払保証料	123	123
支払補償費	3,383	462
支払手数料	<u>37,566</u>	<u>416</u>
その他	38	38
営業外費用合計	<u>43,334</u>	<u>3,598</u>
経常利益又は経常損失 (△)	<u>△4,435</u>	<u>26,119</u>
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	<u>△4,435</u>	<u>26,119</u>
法人税、住民税及び事業税	3,755	433
法人税等調整額	<u>6,790</u>	<u>8,682</u>
法人税等合計	<u>10,546</u>	<u>9,116</u>
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	<u>△14,981</u>	<u>17,002</u>

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期損益計算書計上額(注)
	ASPサービス事業	ホテル関連事業			
売上高					
外部顧客への売上高	511,347	13,837	525,185	—	525,185
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	9,832	9,832	△9,832	—
計	511,347	23,669	535,017	△9,832	525,185
セグメント利益	<u>28,653</u>	25	<u>28,679</u>	—	<u>28,679</u>

(注) セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、前第1四半期累計期間においては「ASPサービス事業」の単一セグメントでありましたが、平成29年9月21日付でナチュラルグリーンリゾート株式会社より、ホテル事業の譲受を行ったことに伴い、当第1四半期会計期間より、報告セグメントとして「ホテル関連事業」を新設しております。これにより、当社の報告セグメントは、「ASPサービス事業」及び「ホテル関連事業」の2つの報告セグメントとなりました。